

【大里西地区】

大里西地区の地域福祉を向上したい。

課題1：地域の活動に参加する後継者がいない	
後継者がいない	
課題	解決策
<p>【地域の課題（困りごと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り地域 <p>【アンケートからの課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①町内会などの役員のなり手がいない ⑦多世代交流がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者を育てる ↓それには ・講習会に参加する。 ・地域行事に参加してもらう。 ・老若男女の交流する機会が欲しい。 ・地域のつながりを深める →あいさつ運動を広げよう ↓ 【事例1】 ・まちづくり協議会・生活支援整備体制事業・地区協議会によるあいさつ運動のチラシを配布（すでに始めていて全戸配布済み）
課題2：災害時の避難	
災害に強い地域にしたい。	
課題	解決策
<p>【地域の課題（困りごと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダーが講習会に参加 【事例2】 ・大里西地区独自の防災訓練を年に1回行っています（地域の人）。 ・飲料水の確保・保管場所の確保 ・体験者の講習会に来てもらい話を聞く。 ・災害時に役立つ訓練を取り入れる（まちづくりの市民活動部会が計画）。 ・避難場所まで行けない地域が多数ある。 ・近くの会社と提携をする（建物・駐車場）。

【下津地区】

下津地区のまちづくり

課題1：他人との交流	
項目	意見
①あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、声かけ。 ・地域交流会（夏まつり）への誘い。 ・地域行事の案内配布。
②趣味	<p>【自分・仲間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味等を持ち、極力家に引きこもりをなくすよう、みんなで外に出すようにする。 <p>【地域社会で団体など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味、得意なことなどを教えてくれる場所を設けてもほしい。
③会場	<p>【市・地域・企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味の会、おしゃべりの会などができる会場を用意する。
④あつまりⅠ	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン、老人会などの規約をもう少し緩くして、集まりやすくする。 <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人会を活性化させる。
⑤あつまりⅡ	<p>【私も手伝う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に一回、大人食堂を開く。
⑥あつまりⅢ	<p>【市民・地域・行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の喫茶店などのチケットを安く配布して、外へ出やすくする。

課題2：災害時の避難	
項目	意見
①市への依頼（希望）	<ul style="list-style-type: none"> ・各町内の公民館を充実させる。 ・災害時は避難場所が水害時危険なため、東海豪雨で浸水した水位を電柱に表示して多くの町民に知らせる。 <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公会堂に非常食を備蓄して移動を少なくする。
②マップ	<p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マップを作成し、それをいかに伝えるか？ <p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のハザードマップをわかりやすくして周知してほしい。
③企業への協力	<p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の企業に協力してもらおう。アピタやパチンコなど。 ・車が水に浸かりそうな時、下津地区はアピタ・タイキの駐車場にお願いできないか。
④情報について	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を適切に早く伝えてほしい。 <p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難をするための情報（レベル）を、いろいろな年代の人にわかるようにしていく。 <p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難するタイミング（情報）をいかに入手するのか。 <p>【市・地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災に関わる施設の情報をまとめておく。
⑤行政	<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会を活発にする。 <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練をした方がいいと思う。 ・避難場所に集容能力があるのか。
⑥自助努力	<p>【自分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水害。いつでも避難できるよう、常備品を備えておく。 ・避難場所に行くまでの間の状況がわからないので、その途中での災害が考えられる。 <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の中でどこへ避難するのかなど話し合っておく。

【大里東地区】

人とひととのつながり

課題1：通院（移動）	
困った人はどうすれば？	
項目	意見
①市民	<p>【市民・隣の人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車での送迎（住民同士互いに）。 <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な仲間で金額を決めて支払うか、ポイント制にして何か良い方法を見つけたい。市にお願いしてもバスも通らないし、とてもまだまだ遅い課題だと思ふし。
②社協	<p>【社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドライバー（ボランティア）の募集。 ・ドライバーの保険料の負担（高くなったか）。 <p>【市・社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故が起きた時の対応。
③行政	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの補助制度 ・コミュニティバスをやめて、タクシーの活用。 <p>【市（行政）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護タクシーの利用。
課題2：他人との交流	
項目	意見
①私	<p>【住民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所とのあいさつ運動。 <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ（朝・夕）。
②住民	<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種行政への参加。 ・行事参加への声かけ、誘い。 <p>【私】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内行事への参加。 ・資源ごみの回収日にボランティア参加。
③行政の支援要	<p>【市民・私】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な場所で気のおけない仲間から。 <p>【町内会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内（組）単位で交流の場をつくる（要支援）。 <p>【地域のボランティア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まれる場所作り（サロン等）（要支援）。

【小正地区】

安全で和やかな地域づくり

課題1：他人との交流	
リーダーが必要	
項目	意見
①あいさつ運動	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけ（見守り） 【私】 ・あいさつ運動。 ・まず、お隣通しから。 【市民】 ・あいさつから。 ・日頃からあいさつをするようにする。 【行政】 ・他人との話し合いをしながら、したいことをする。
②地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 【組長さん】 ・組長さんになったらその組の人に1ヶ月か2ヶ月に1回くらい、配布する時に声をかけるように。 ・組長さんを通して一人暮らしの人の安否を聞く。 ・組長を使って市の配布物を頼む（公報以外）。敬老会の案内とか町づくりの案内とか。
③ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動。 ・ポイント、有料制。 ・ボランティアセンター。 ・若年の人を支えるプロジェクト。 ・高齢者 【市・地域（市…補助金を出す）】 ・まず、有志が集まり楽しい場を設定。少しずつ声をかけて人数を増やしていく。
④その他	<ul style="list-style-type: none"> 【市・社協】 引きこもりの人の情報。

課題2：災害時の避難	
項目	意見
①ハザードマップの作成（行政）	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所を公民館レベルへ。 ・公民館の強靱化。 ・市 ・福祉避難所の整備。 ・福祉施設。 ・市、社協、福祉法人など。 <p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が起きた時の時間帯で避難が変わるので、その時の対応。 ・マップ作り。 ・危ない時は、〇〇は～へ行くとはっきりさせてほしい。 <p>【私】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大水の時は、3階以上の管理者（施設長）に受け入れる覚悟をしておいてほしい。 ・用水路を逆路にしている所が増えているので、ハザードマップを作成し直す。 <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい子どもがいる方や障害者の方を早く避難させるか。
②災害に備えて本人がすること	<p>【本人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を出して。 ・子どもと共に訓練をする。 ・どこに避難するかを確認する。 ・高齢者にいかに早く伝えるか。 <p>【各人・私】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常食の常備。 ・非常食を使った料理。
③みんなですること	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の時に非常食を使った料理を皆で作る。 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各組ごとの詳識人が安否確認→区長に報告。 <p>【市・地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火訓練は毎年行っているが、避難訓練は一度もしていない。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">避難場所の確認。</p>